

サヨナラ原発 福井ネットワーク

連絡先：越前市瓜生町51の2の7 若泉方

郵便振替口座 0078019140314

2013年
3月23日

おぼぼの繰り言

五十嵐 靖子

① 私は加害者？

3・11の前後には、東日本大震災の被災地からの報道がよく流れていたが、ある報道番組で、福島県の果樹農家さんは、「原発事故でお客さんも離れていったが、息子夫婦や孫とも離れ離れになった。収入も1/3に減ってしまった。風評被害で大変だ」と嘆いておられた。それまで風評被害という言葉葉を何度も聞いていたが、この時は「えっ風評被害？」と妙に心に引っ掛かった。「風評被害」というのなら、福島県産の食品を買わない私は加害者なの？」加害者は私たち消費者だなんて思ってもみなかったが、果たしてそうなんだろうか？

加害者は、過酷事故を起こして放射能を撒き散らした東京電力としか思えないのです
が・

② 「いつ目を覚ます？」

ずーっと前に「今、敦賀で地震が起きたらどうしようと思うと、目が冴えてきて寝られない時がある。」と山崎隆敏さんが言われたときに、「何と大げさな・・・」と心配症過ぎるのではないかと心の中で思っていたことがあります。

ところが地震で福島原発の重大事故が起きて、山崎さんの心配が当たってしまった。そこで、ほとんどの国民は「安全神話」が嘘だったことを知ることとなった。

そして、もう再稼働はないと思っていたのに大飯原発を動かしてしまった。さらに、「原発0」への道筋が政権交代で消えてし

まう事態になっている。それをいいことに、西川福井県知事は、再稼働へのハードルが高くなるのを恐れて規制委員会などに働きかけている。福島の事故が起きたのにも関わらず、まだ目が覚めず寝ぼけている。「いつ目を覚ますか？」「今でしょう。」と言っても遅すぎますが、若狭で事故が起きてから目を覚まされたんでは取り返しがつかないことになる。私は知事に命を預けた覚えはない。まして孫たちの命はなおさらのこと・・・。

地震の速報が出る度に「原発は大丈夫？」とドキドキしている住民の心配をよそに「地震や津波は来ない、事故は起きない、と今でも枕を高くして寝ていられるのか？」と一度聞きたいものです。



じじ通信の未来(由来)

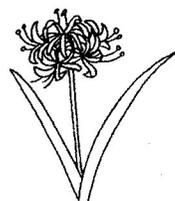
石森 修一郎

義妹から(原発おじさん)と他人に紹介され、そうなんだと気づいたのがつい最近の事だったのに注意し、元旦に初孫が生まれた途端「原発お爺ちゃん」に昇進してしまいました。嬉し悲し複雑な気持ちを「じじ通信」と名付けて発信始めたのは、次男の嫁が天津市の実家で出産することが、実感として受け止めることになった昨年の旧盆の里帰りの折り、嫁のお腹が目立ってきた頃でした。その頃県庁前抗議行動を始めて一ヵ月後の頃で、妻もうすうす気づいていて、次男夫婦と連れだつて県庁前に偵察にきたのでビックリしました。嫁の父親は元自衛官だったので、嫁はきつとギクツとしたかもしれません。妻の弟も何の因果か現役の東電社員、複雑な環境での反原発運動、でもこれくらい乗り越えなくては、他人に訴えることはできません。私が思いを込めて

折る気持ちで叩いた命の太鼓に、孫が腹の中で反応してリズムカルに蹴っていると聞いて、ああこの世に強力な味方が誕生するんだと実感しました。それ以来、天津の近くの大飯原発の再稼働を止めて安心できる環境で孫が産まれるようにするため、滋賀県の嘉田知事、上牧の関西電力八木社長への直訴活動に励みました。単純な分かりやすい動機に、滋賀の方も大阪の方もコラボしてくださいました。その折感じたことを(じじ通信)と名付けサヨ原の三に投稿させていただきました。

力及ばず大飯原発は止められませんでしたが、初孫は予定日に無事誕生しました。名前は息子が「智帆」と名付けました。2月には東京に戻り順調に育っています。成人するころには脱原発が実現していると思います。その為にもまず今現在動いている大飯原発を止める「反原発」に全力投球したい。老い先短い身故に失敗は許されません。反原発に右翼も左翼も有りません。仲好く「中

翼」コラボ(協働)しましょう。分断寸断に注意し足りない「愛」を増やしましょう!これからも老骨むち打ち、楽しくじじ通信を発信させていただきます。ご笑読ください。
合掌



道東より

酒井照子 2月20日

道東 釧路でも2月8日から駅前で金曜集会が始まり、私も参加してきました。一日中氷点下の釧路 夜は特に冷え込みます。突き刺すような寒さの中 岩手から避難して来ている方が 先の選挙では自民党候補も 民主党候補も 原発反対と言った、だからみんな自民に入れた というニュースでスピーチされました。背中には一才の赤ちゃんをおぶり 3年生くらいのお姉ちゃんを連れてきます。私もそのあと 持参したマイ・マイクでスピーチしました。

泊原発からは離れているので(35km) 鋼路の人は無関心な人が多いのですが、後何回かの金曜集会には、美浜での風船飛ばしの例を話すつもりです。私たちは原発銀座福井からの旅行者なので、原発の話題でも引かれることはありません。顔見知りになった人には、積極的に3・11や大飯のことを話しています。お土産には山崎さんの小冊子、河合君の原発ブルース、高木仁三郎さんの「科学の原理と人間の原理」を持参しました。

鶴居村に来て絡もう2カ月経とうとしています。寒さは半端ではありません。早朝四時半に出かける酒井のアノラックは、ゴワゴワと凍るそうです(マイナス24度)。

サヨ原の次回定例会

4月18日(木)午後7時より

アイアイ鯖江(健康福祉センター)

会議室 平和堂の近くです

どなたも自由にご参加ください。

しかし借りている平屋の 超古—い家でも 暑くて暑くて、私は福井にいる時よりも 薄着になりました。トイレにも暖房器が付いています。窓を見てみると、すべて二重窓、従ってガラスは四重になります。だから暖かいのでしょうか。

私たちは 寒さにもめげず 風邪もひかず、どこへでも出かけています。寒さは超弩級ですが、毎日快晴 北陸者にはありがたい 気持ちの良い青空が広がっています。はるか遠くの防風林まで広がる広大な雪原は 言葉をなくすほど美しく 風が吹くとキラキラと雪煙が舞い上がります。

三ヶ月の期間は 遊び歩くには長すぎます。酒井は仕事のようにして写真を取りに私は植物細密画と週2回のヨガに通っています。

こちらでも3月10日には「さよなら原発集会」鋼路」がその前3月3日には「野呂美加さん講演会 チェルノブイリからふくしまへのかけはし」があります。それらに参加

することで 福井に帰るまで細々と問題意識を持ち続けたいと思っています。

のんびりと帯広に向かう車中 ラジオから飛び込んできた一句。

「樞の人 おいて逃げよと 原発忌」

津波や地震で亡くなった人をも おいて逃げなければならなかったのでしょうか。福島では 水素爆発のあった3月12日を 原発忌として3月の季語として加える動きがあるそうです。

福井県庁前「再稼働反対!」金曜デモ」

知事へ抗議し、デモ行進しよう!

反原発福井コラボレーション 若泉政人

昨年七月初旬、サヨナラ原発福井ネット ワークや裁判に取り組んでいる仲間たちに「知事辞めろデモ」をやらなかと声を掛

けました。大飯原発3・4号機が七月一日に再稼働され、立地自治体の福井でも、明確に再稼働に反対している人間がいること、とりわけ知事の責任を問うている人間が福井に居ることを全国に知ってほしいと思っただからです。

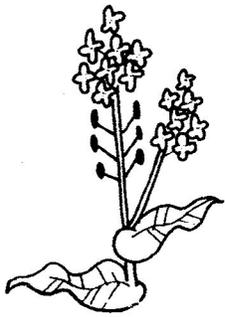
抗議は官邸前にならない、毎週金曜日、時間帯は知事・職員に声を届けるために午後4時から行方。参加者が少数でも続けること、「知事辞めろデモ」では参加する人が増えないという意見もあり、抗議名は「再稼働反対！金曜デモ」とし、「知事辞めろ」は抗議の柱の一つにするということに決定。期間は、大飯が定期検査で止まる2013年9月まで。

第一回目は7月27日。午後4時から県庁前のJA会館前の歩道でマイクアップし、午後5時半からデモ行進。毎回県庁周りを約45分かけて一周します。参加者は平均15名くらいで、一番多くて20名ほど。思ったように増えていませんが、関西など県外からの参加者がコラボレートすることも

あり、大飯原発の再稼働は福井県だけの問題ではないことを、福井の人たちに少しづつでも知ってもらうことができればと思います。抗議しデモ行進することで、自由に意見を言っていいたいということも福井の人たちにアピールしたいと考えています。デモの際には河合良信さんが自作の「原発ブルース」を皆で歌うこと、NHK前で報道姿勢に抗議することが恒例となっています。

2月22日時点で31回を数え、中学生が激励してくれたり、通りすがりにカンパをしてくれたりする方も現れました。立ち止まって議論をする人たちも含め、少しずつですが、反響を感じています。

県内外の皆さんの活動に励まされ、これからも続けていきます。どうぞ一度ご参加ください。



『終焉の時を迎えた日本 の原子力政策』

山崎 隆敏

時折り声のかかる勉強会の場で、私はこのタイトルを掲げてお話しをしています。原子力政策の「終わりの始まり」は、フクシマ以前から始まっていた。以下の文章は、十二年前に書いたものです。

反原発運動が初期の頃掲げていた代表的なスローガンは「原発は人類と共存できない」でした。私たちは「暴走する原子力行政」を批判しつつ、十数年くらい前から「チラシのタイトルに「原発の時代は終わった」という見出しを掲げるようになりました。原発のゴミ問題がいよいよ表面に出てきて、原発政策は終末期にさしかかったからです。

もんじゅや六ヶ所村の再処理工場そしてプルサーマルも、推進側は資源リサイクルだのCO₂削減だのと表向き体裁をつく

ろいますが、裏側には行き詰まった「原発のゴミ問題」があるのです。

その上さらに、老朽化と原発震災の問題が前面に立ちはだかっています。原発を推進する勢力も、その意味ではがけつぶちに立たされていると言えます。

推進側は「原子カルネツサンス」などはやし立ててはいますが、日本で新規建設の見込みはほとんどなく、増設も積極的にすすめたがっている電力会社はありません。（日本原電備や電源開発備のような例外はありませんが）

プルサーマルにしても、電力会社にとってそんなに有利な事業なら全ての原発で積極的に進めそうなものですが、どの電力会社も国の方針に渋々お付き合いをする程度です。渋々でもやらざるをえないのは、行き詰った「ゴミ問題」が背景にあるからです。

しかし原子力には、国策として莫大な予算が投じられており、政治家もマスコミも知識人も含め、日本では誰も異議を唱える

ことのない「裸の王様」状態であるため、脱原発政策への転換がおこなわれる見込みはいまのところありません（日本のエネルギー・原子力政策は閣議で決定され、国会での論議を経ることはありません）。

原発を襲う地震の問題が切迫しています。私たちとしては脱原発政策を一日でも早く実現させる運動を強めなければなりません。私も、もう一息踏ん張ってみたいと思います。

2001年3月22日

補記 私の選挙総括は、ブログ takag621 をご覧ください。また、ご一報いただければ私の私信「熊の手通信」をお届けします。



新刊案内 ①

長年にわたり脱原発活動・被曝労働問題に取り組んできた「若狭ネット」の研究者たちが、相次いで警鐘本を出版しています。ご一報いただければお届けします(書店にもあり)。

『福島原発と被曝労働』 隠された労働現場、過去から未来への警告

共著者: 石丸小四郎 建部進 寺西清 村田三郎 明石書店 2300円

『子どもたちの命と未来のために学ぼう 放射能の危険と人権』

共著者: 国分俊樹・振津かつみ・久保良夫・尾崎一彦・稲岡広蔵 明石書店 800円

『増補 放射線被曝の歴史』 著者:中川保雄 明石書店 2300円

稲岡広蔵博士が解説を加えて増補復刊された名著です。

購入希望は、tel 090-6271-8771 (山崎)まで。

2012(H24)年、福井での脱原発の主な活動一覧～サヨ原を中心に～

2012.1.19	2012.12.19 の福井県への申し入れの続き(サヨ原)
2012.2	嶺北の市会議員へアンケート 「311 後の原発への意識調査」(サヨ原)
2012.3.11	集会、パレード「さよなら原発福井県集会 in つるが」 1200 人 風船飛ばし 美浜・水晶浜より (サヨ原) 6 時間弱で群馬・茨城など関東へ到着
2012.2.3	県議会、福井市議会、あわら市議会に陳情 (サヨ原)
2012.3.25	集会『大飯原発 3・4 号基「再稼働」に慎重な判断を求める集会』750 人(県民会議)
2012.4.10	福井県へ申し入れ「福井県安全専門委員会の一部解任を求める要請」(サヨ原)
2012.4.14	枝野経産大臣の福井県知事に大飯原発再稼働の要請—抗議行動 県庁にて
2012.4.27	ベラルーシからの来訪者講演「チェルノブイリ原発事故から 26 年目の現状」(サヨ原)
2012.5.12	集会「大飯原発、今なぜ再稼働？ふくいにあつまろう」300 人(サヨ原)
2012.5-6	住民と県議の意見を聞きあう会 (共産党、公明党、民主・みらい) (サヨ原) 自民党は申し入れるも返答なく話し合い持てず。
2012.5.28	滋賀県提供の放射性物質飛散シミュレーション図の情報公開請求
2012.6.3	集会「大飯原発、今なぜ再稼働？ふくいにあつまろう(パート 2)」540 人(報道)
2012.6.10	福井県原子力安全専門委員会 大飯 3、4 号基安全審査終了(再稼働 OK) 傍聴者入れず別室で行われる。
2012.6.12	放射性物質飛散シミュレーション図を黒塗りで情報公開 見えるのは滋賀県部分のみ、福井県の所など真っ黒に塗りつぶしてあり
2012.6.14	細野原発担当大臣が福井県知事に再稼働の要請—県庁前での抗議行動
2012.6.16	福井県知事が大飯原発 3、4 号基の再稼働に同意を表明—撤回要請
2012.6.17	集会「いのちが大事、今なぜ再稼働？ふくいであつなろう」2200 人
2012.6.20	渡辺満久講演会「見逃された破砕帯」ユアィ福井研修室 (サヨ原)
2012.7.27	大飯 F 6 断層現地調査 福島瑞穂議員、渡辺満久ほか 福井の市民入れず
2012.6.28	福井県へ申し入れ「大飯 F 6 破砕帯の再調査を求める要請」 (サヨ原)
2012.7.13～	関電福井事務所前抗議 これより毎週金曜夕方に抗議行動始まる
2012.7.27～	県庁前抗議&パレードが毎週金曜開催 (反原発福井コラボレーション)
2012.10.13	講演・松下照幸氏「美浜を自然エネルギーで溢れる町に！」(サヨ原)
2012.10.29	3 会が県との話し合い。(原発から住民の命と安全を守る連絡会・ふくいであつなろう実行委・反原発福井コラボ)
2012.11.3	大飯原発差し止め訴訟の発足会&井戸謙一弁護士による記念講演
2012.11.11	集会・パレード&脱原発コンサート 中央公園・みくに文化未来館
2012.11.18	福島から福井へ避難された川崎葉子さんのお話「双葉町から丸岡へ」(サヨ原)
2012.11.24	渡辺満久教授講演会 教賀「大飯原発の活断層」
2012.11.30	「大飯原発差し止め」福井地裁に提訴
2012.12.04	衆議院選挙告示 選挙戦始まる。元代表 山崎さん社民党より出馬
2012.12.8	もんじゅ反対全国集会・教賀 800 人
2012.12.9	海渡雄一弁護士講演「原発を止めるために今、私たちにできること」(サヨ原有志による学習会)
2012.12.16	衆議院選挙・自民党圧勝 元代表山崎さん頑張るも敗れる

※午後 4 時からの県庁前メッセージ&パレード (金曜) は続いています。参加しましょう！！ (作成：中嶋)

2012(H24)年 サヨ原会計収支報告 <1月～12月>

NO.	行事・項目	収 入		支 出	
		金額	内訳	金額	内訳
		247,457	前年度繰越		
1		651,100	会費(大口カンパ有り)		
2	2月議員原発アンケート	0		36,510	封筒・切手・郵送代
3	311水晶浜風船飛ばし	81,300	参加費・ハガキ売却代	99,720	バス・風船・ハガキ印刷代
4	3月サヨ原ニュース	0		115,034	印刷・紙・郵送・新聞折り込み含む
5	4月チェルノブイリ報告講演	81,980	参加費・カンパ	52,225	会場費・チラシ郵送費・接待費・印刷代
6	5月中央公園集会	46,341	会場カンパ	103,991	案内ハガキ・講師代・フラガード等材料費
7	6月中央公園集会(6月3日)	41,420	会場カンパ	38,352	チラシ代・材料費
8	6月17日中央公園集会	「ふくいでつながろう」共同主催にて収支は清算済み			
9	6月議員との話し合い	0		36,972	会場費・郵送費・封筒代
10	6月渡辺満久氏講演会	22,502	参加費・カンパ	24,090	講師謝礼・会場費・お茶
11	10月松下照幸氏講演会	16,982	会場カンパ	12,370	講師謝礼・会場費・お茶
12	11月サヨ原ニュース	0		55,290	印刷・紙・送付・山崎代表辞ハガキ含
13	11月川崎葉子さん講演会	39,935	参加費・雑収入	32,036	講師謝礼・会場費・お茶・チラシ・コピー
14	賛同費(振込料含)	0		28,520	311教費・再稼働阻止ネット等
15	出張旅費・7月・8月・11月	0		82,089	旅費・東京2回・松山
16	運営費・備品	0		34,170	会議費・コピー・旗など
17	返金	0		250,000	サヨ原立ち上げ時のお金(山崎さんへ)
	合 計	1,229,017		1,001,369	
	次期繰り越し金			227,648	

2013(H25)年度の会費納入のお願い

<会計年度:1月～12月>

年会費 : 1000円+カンパ
 郵便振替口座 : 00780-9-40314
 口座名 : サヨナラ原発福井ネットワーク



昨年2012年は、会の活動も2年目となり活発な活動となりました。今回の会計報告は、活動ごとの収入と支出で報告させて頂きました。皆さんの会費やカンパにより、様々な活動ができました事を心より感謝致します。多額のカンパをして下さった方々もありました。これらの資金により、地元で講演会や集会を開くだけでなく、各地の脱原発運動をしている団体に賛同・参加するなどして、全国的なネットワークにも繋がることもできました。また、元代表の山崎さんに、サヨ原立ち上げ時に提供して下さっていたお金をお返しすることもできました。昨年の途中で入会された方や既に今年度の会費を振り込んで下さった方々にも一律に振込用紙を入れています。失礼をお許し下さい。昨年の会費が未納の方は、2000円振り込んで下されば助かります。

会計:中嶋 会計監査:中村

参議院に議員提案された脱原発基本法

超党派の参議院議員が参議院に『脱原発基本法案』を上程しました。民主党の賛成があれば、参議院で成立する可能性があります。

『脱原発基本法』は、「遅くとも、2020年から2025年までのできるだけ限り早い時期に脱原発を実現すること。それまでの間においても、最新の科学的知見に基づき、災害の防止のための基準に適合していると認められた後でなければ運転してはならない」などを骨子としています。

日本は法治国家であり、役人は法律に基づいて仕事をしますから、原発を止めてゆくにもその手続き法が必要なのです。昨年、超党派の103名の議員が衆議院に提出し、継続審議となっています。脱原発派の議員が極端に少なくなったため、衆議院での可決は無理ですが、参議院で議論され、国民に『脱原発基本法』の存在が知られることの意味は大きいでしょう。

発議議員

森ゆうこ・はたともこ・谷岡郁子

福島みずほ

賛成議員

『生活の党』 佐藤公治・主演了・

谷亮子・平山幸司・広野ただし・藤原良信 『み

どりの風』 亀井亜紀子・行田邦子・平山誠・

舟山康江 『社会民主党・護憲連合』 又市征

治・山内徳信・吉田忠智 『無所属』 糸数慶

子

賛同議員

『民主党・新緑風会』 江崎孝・大

河原雅子・田城郁・徳永エリ・相原久美子 『み

んなの党』 小野次郎・川田龍平・山田太郎・

米長晴信

貴方にとって好きになれない政党・議員もいるかもしれませんが、彼らを小異を捨て大同につかせ、一步一步着実に前進してゆかねば今日の日本の、まさに「困難」を克服することはできません。

私たちは長い間、原発推進勢力と闘ってきました。まだまだ、困難な道のりは続きますが、ぜひ、お知り合いの国会議員に、この法案に賛同するよう働きかけてください。

新刊案内 ②

「ニューヨーク科学アカデミー紀要」が、岩波から4月26日に刊行されます。ロシア語で書かれた原書の英語版を一年半前からボランティア翻訳チームで日本語に翻訳したものです。

事故の影響を過小評価しようとするIAEAをはじめ国際原子カムラに抗し、ゴルバチョフの科学顧問を務めたヤブロコフ博士とベルラド研究所を創設したネステレンコ博士を中心に、被害地域の医師などの知見にもとづく資料を徹底的に収集・分析し、人間と生態系への被害実態を浮き彫りにした大部の労作です。

『調査報告 チェルノブイリ被害の全貌』(岩波書店)

アレクセイ・ヤブロコフ、ヴァシリイ・ネステレンコ他=著

チェルノブイリ被害実態レポート翻訳チーム=訳

* 私(山崎)の妻もロシア語の監修を受け持ちました。